

長年の功労をたたえて 条例表彰

市民生活の各分野で長年にわたり尽力された方や、公共の福祉のために寄附された方などを、市の条例に基づき表彰しています。今年表彰を受ける方は、功勞者12人、功績者92人、徳行者5人です。特に功勞の顕著な一号功勞者3人をご紹介します(順不同)。

秘書広報課
☎202101

産業功勞



はやかわ けいじろう
早川慶治郎さん
(朝倉町)

株式会社足利フラワーリゾートの経営とともに、長年にわたり足利商工会議所の活動に携わり、平成22年から会頭、現在は特別顧問を務められ、同会議所の発展と地域商工業の活性化に尽力されています。また、平成24年に足利市観光協会会長に就任し、卓越した指導力で新たな事業を次々と展開されたことで、本市の観光客数は年々増加し、平成30年には過去最高を記録しました。さらには、足利市中小企業対策審議会会長、足利市勤労者表彰審査会会長など各方面で活躍し、本市の産業界全体の振興に多大な貢献をされました。

防災功勞



かわち しずこ
河内静子さん
(福富町)

平成8年から福富町1丁目女性防火クラブ会長として、家庭での火災予防知識の習得と地域全体の防火意識を高めるために尽力され、クラブの礎を築きました。また、平成23年には、足利市女性防火クラブ連絡協議会会長に就任され、創意工夫と改善に目を向けた取り組みにより、安全安心なまちづくりの推進に寄与されました。同時に、栃木県婦人防火クラブ連合会の副会長として、本市はもとより栃木県の消防・防災の指導者として活動され、市域を越えた防災意識の向上を図るなど、多大な貢献をされました。

公益功勞



いわさき まさる
岩崎勝さん
(有楽町)

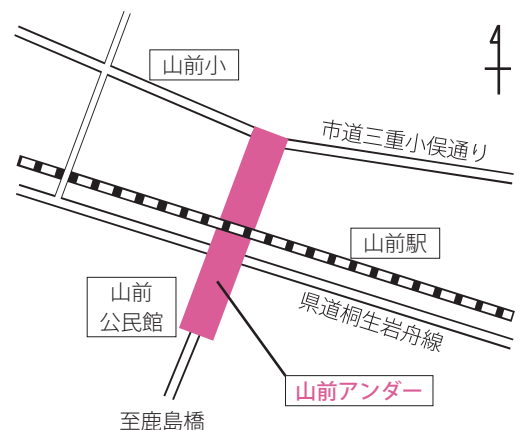
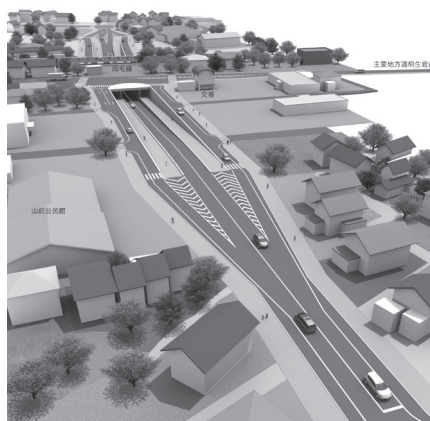
税理士として活躍される中、平成10年に足利市監査委員に就任。20年の長きにわたり財務・経営管理を監査する立場から、本市の財務事務の適正な執行と行政の効率的、合理的そして適法な運営に尽力されました。また、代表監査委員として、定例監査、現金出納検査、決算審査など、それぞれの監査において企業経営に精通した豊富な知識と経験に基づいた確かな指導を行うとともに、常に新しい視点で行政運営に対しても助言をなされました。本市の財務管理の適正な執行と市政の健全な運営に多大な貢献をされました。

開通します!
市道鹿島山下通り
(山前アンダー)

道路河川整備課
☎202188

開通日時 5月24日(日)
午後2時

▶画像左=イメージ図
右=位置図



市民の皆さんの
活躍をご紹介します！

ちよ
ど いい話。😊

足利市消防団

3月9日(月)、足利市消防団が消防庁長官より防災功労者表彰を受章しました。

昨年の台風19号に際し、記録的豪雨により市内各地において道路や住宅の冠水・浸水被害などが相次ぐ中、水防活動をはじめ河川の堤防巡視や広報、救助活動などの実績が認められ、受章されたものです。

代表受章者の小宮文雄団長は、「大変名誉ある賞を受章することができ光栄です。現状に満足することなく、これからも災害に強い安全安心のまちづくりにまい進していきたい」と語っていました。



▲小宮文雄団長



▲星野 喜以子さん

星野 喜以子さん

2月17日(月)、身体障害者等社会参加促進功労者として厚生労働大臣表彰を受賞しました。星野さんは点字に興味を持ち、点訳講習会を受講。講習会を修了した仲間と平成5年に点訳サークル『あいの会』を立ち上げ、あしかがみをはじめとするさまざまな書物を点訳し、視覚に障がいのある方へ提供してきました。

これだけ長い間続けてこれたのは「点字への理解が深まっていくのが楽しかったから」。現在の会員数は約50人。自分の健康が続く限り若い会員たちを育てていく事が今の抱負だそうです。

新型コロナウイルスの拡大で、日本のみならず、世界が経験したことのない危機に直面するなか、感染症をテーマにした小説や映画がよく売れているといいます。ポルトガルのノーベル賞作家ジョゼ・サラマーゴの『白の闇』、ダスティン・ホフマン主演の映画『アウトブレイク』…。私は、ノーベル賞作家カミュが書いた『ペスト』(新潮文庫、宮崎嶺雄訳)を読みました。

アルジェリアのオラン市で、ある朝、医師のリウーはネズミの死体を発見する。そして原因不明の熱病患者が続出し、ペストがまん延していく。外部と隔離された中で、必死に戦う市民の姿が描かれています。

印象的だった場面は、主人公のリウーと新聞記者フンペールのやりとりでした(同書245ページ)。「今度のことは、ヒロイズムという問題じゃないんで

誠実さこそ

至誠
通天

市長コラム
No.077



和泉 聡

す。これは誠実さの問題なんです。こんな考え方は笑われるかもしれませんが、しかしペストと戦う唯一の方法は、誠実さということですよ」と語るリウー。ランペールが「どういうことですか、誠実さって何のほう？」と問い返すと、リウーは「僕の場合には、つまり自分の職務を果たすことだと心得ています」。

危機に直面すると、指導者たちのリーダーシップの重要性が叫ばれますが、それと同じか、もしかすると、それ以上に、危機にこそ、ひとりひとりが自分の職務(≡役割)に誠実に向き合うことが大切になってくるのだと、改めて思いました。

感染から自分や家族を守るためにやれることは何か。まちや社会を守るためにすべきことは何か。社会経済へのダメージを最小限にするために、できることは何か。

情報や風評の渦に翻弄されることなく、冷静に自分の役割に誠実に向き合う。その力がいま試されているのだとも思ったのでした。